

Dokoネット

70年の伝統と「人のネットワーク」

副会長挨拶

篠木 俊雄 同志社大学理工学部同窓会副会長

理工学部近況報告

辻 幹男 同志社大学理工学部長、同志社大学理工学部大学院理工学研究科長
同志社理工学会会長

特集 理工学部70年史編纂が進行中!

What's New!

同志社24EC 同窓会報告

工学部岳稜会OBゴルフ対決報告

放電加工・プラズマ応用ゼミ同窓会報告

2012年度 理工学部同窓会

総会・リユニオン報告

2013年度 理工学部同窓会

総会・リユニオンのお知らせ



卒業生・修了生の皆さん、おめでとうございます。
同志社人として、光り輝き、お一人お一人が幸せな生活、
素晴らしい人生行路を手に入れて欲しいと思います。
日々刻々と変わる社会の中、本会の運営には
時代の変化に敏感な若い方々の力が必要です。
是非とも本会の活動にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

70年の伝統と「人のネットワーク」

同志社大学理工学部同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より同窓会活動に多大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

理工学部は旧工業専門学校から工学部を経て、来年2014年に創立70周年を迎えます。その間、卒業生は41,153名にもおよび、社会の各方面で活躍されておられます。さて、理工(工)学部の卒業生は、特に自主性を重んじる校風の影響もあってか、他大学と比較して、あまり“群れない”ように感じます。これは、自己問題解決能力に優れていて、大きな強みになる半面、視野が狭くなるといったリスクをはらんでいます。特に社会が急速にグローバル化へと進みつつある近年、固定観念に囚われず、異なる技術や分野さらには文化との共存や融合そして発展が求められております。この命題には、自己の能力範囲を縦に横に、そして深さ方向へと拡大していくことが必要で、それには様々な立場の人との繋がり、つまり、「人のネットワーク」が有効な解法になると思っております。このような状況下で、70年の歴史を有する卒業生で構成された理工学部同窓会が、このネットワーク形成の礎になるべきであると考えております。

この同窓会活動を活性化すべく、幹事会のメンバーが中心となって議決機関である総会の開催、リユニオン企画として講演会の開催、会報である「DoKoネット」の発行ならびにホームページの運営、そして卒業生の名簿管理による同窓会開催支援などに積極的に取り組んでおります。しかし、まだまだ力不足で、諸先輩ならびに若い会員各位のお力添えが必要です。今後、更なる活動へのご支援と積極的なご参画を賜ります様、お願い申し上げますとともに、ご要望やご提案ならびにご指導を頂戴できたら幸甚に存じます。

また、2013年3月に理工学部を巣立つ皆様、ご卒業おめでとうございます。就職されると、学生時代にはなかった時間スケールが必要となりますが、向上心を持って社会に大きく羽ばたいていって頂きたいと願っています。そして、これからの更なる自己成長過程において、是非ともこの理工学部同窓会に積極的に参加し、「人のネットワーク」形成に上手く活用して頂ければと思います。

最後に、新しく理工学部同窓会のメンバーになられた卒業生の皆様に歓迎しつつ、会員皆様の益々のご多幸を祈念申し上げます。



同志社大学理工学部同窓会
副会長

篠木 俊雄

昭和61(1986)年 機械工学第二学科卒
昭和63(1988)年 大学院<前期課程>修了
三菱電機(株) 先端技術総合研究所

理工学部近況報告

本年度も毎年恒例の入学試験、修士論文審査会、卒業論文審査会と慌ただしく続く2月が終わり、4月に新入生を迎えるまでの間の1か月は少し落ち着いた気分になります。近年の理工系志向の高まりで、理工学部一般入試の志願者は昨年度より250人程度増え9,625人となり、ここ4年間で約1,400人増加しました。2013年度から入学者数が定員の1.2倍を超えますと公的補助金カットの可能性がでてきますので、今回の入学試験から理工学部では追加合格制度を初めて導入しました。その意味では3月も研究時間が少なくなりそうです。

2012年度秋学期における大きなニュースとして文部科学省の2件の助成事業に本学が採択されたことが挙げられます。新聞紙上等で御存知のこととは思いますが、1つは世界を牽引するリーダーを養成するための5年一貫で博士課程教育を実施する「リーディング大学院」のプログラムに文理融合を特色とした本学の多文化共生社会のための「グローバル・リソース・マネジメント」が採択されたことです。私立大学の採択は昨年度の慶応義塾大学、本年度の早稲田大学と本学の3大学のみです。理工系統括・文理融合プログラム担当の雨谷昭弘教授(理工学研究科電気電子工学専攻)を代表に、理工学研究科の先生方が多数参加されております。

もう1つはグローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るべく、大学教育のグローバル化を目的とした体制整備を推進する「グローバル人材育成推進事業」(全学推進型)に採択されたことです。この事業は全国13大学しか採択されなかった「国際化拠点整備事業(グローバル30)」の後継の事業で、両方の事業に採択されたのは東北大学、早稲田大学と本学の3大学のみです。これらのプログラムや事業を推進するにあたりましては、海外インターンシップ等で、同窓生の皆様のご助力を必要とする場合が多々あるかと思いますが、御協力の程、よろしく申し上げます。

最後になりましたが、理工学部では、理工学会と同窓会様の協力を得まして年史の発行を計画しています。理工学部が1944年に工業専門学校として、その後1949年に工学部として発足して以来、2014年に70周年を迎えます。第1回ご卒業の方は90歳近くになられますことから、発足当時からの様子などを記録に残しておくため、現在、資料集めを行っております。同窓生の皆様で貴重な資料等をお持ちの場合には、理工学会・同窓会事務局にお知らせいただければ幸いです。充実した年史になりますよう、御協力の程、よろしく申し上げます。



同志社大学理工学部長
同志社大学理工学部大学院理工学研究科長
同志社理工学会会長

辻 幹男

昭和51(1976)年 電子工学科卒
昭和56(1981)年 大学院<後期課程>修了

70年史編纂についてのお願い

年史仮タイトル:同志社大学工学部・理工学部の歩み70年 —さらなる発展に向けて—

同志社大学理工学部 70年史編集委員会
委員長

加藤 利次

同志社理工学部は、来る2014年、工業専門学校創設(1944年)より数え70年を迎えることになります。本理工学部では昨年5月に年史編集委員会を結成し、70年の歴史を振り返り、現在に至る多くの先達の功績を整理するとともに、理工学教育の歩みと現在の状況、さらにはこれからの一歩を社会に向けて発信することを目的として、70周年記念誌の発刊を企画致し、橋詰源治同窓会会長様へ編纂の協力依頼を致しました。

同志社大学理工学部の起源は、今から123年前に、新制大学初代学長ラーネッド宣教師の母堂の紹介により米国ニューロンドン市長も務めた資産家J.N.ハリス氏からの当時10万ドルの寄附金により1890(明治23)年日本で初めての私立高等科学教育機関として設立された同志社ハリス理化学校にさかのぼります。同校はその後、財政上の理由によりやむなく7年で廃校になりましたが、第二次世界大戦の中で、理科教育の必要性とともに科学教育に対しての新島襄の遺志実現のために高等理科教育再興を目指した大学により1944(昭和19)年に同志社工業専門学校として、同志社の理工学教育が復活いたしました。

因みに、海外情勢やキリスト教に強い関心を持った新島は、1864(元治1)年国禁を犯してアメリカに密航。フィリップス・アカデミー英語科を経て、1870(明治3)年アーモスト大学を卒業しましたが、その折、日本人として初めて理学士を取得しています。

同志社大学理工学部はこの同志社工業専門学校の流れを受けて、1949(昭和24)年の新制大学の発足とともに同志社大学工学部として、電気学科、機械学科、工業化学科の3学科が設置されました。1994(平成6)年には、工学部の長年の夢であった京田辺キャンパスへの統合移転が実現し、知識工学科を加えた7学科体制となりました。

2008年に工学部を理工学部と名称変更し、現在では学部はインテリジェント情報工学科、情報システムデザイン学科、電気工学科、電子工学科、機械システム工学科、エネルギー機械工学科、機能分子・生命化学科、化学システム創成工学科、環境システム学科、数理システム学科の10学科、大学院は情報工学専攻、電気電子工学専攻、機械工学専攻、応用化学専攻、数理環境科学専攻の5専攻となり、これまで約4万人におよぶ卒業生を世に送りだし、新島襄より受け継がれた理工学の情熱を現在も脈々と継承しています。

年史の構成としましては、第一部に写真でつづる70年と題しまして、色々な写真を掲載したいと考えております。第二部では同志社大学工学部・理工学部の70年と題しまして、設立の経緯や歴代学部長の先生方および各界でご活躍のOB、OGの方々からのメッセージやご投稿記事を掲載する予定です。第三部では理工学部のいま、そして未来と題しまして、若手研究者や現役学生の座談会、各研究室の紹介など、同志社大学の特徴や今後の展望などの記事を掲載する予定です。そのほか年表などの資料等で構成される予定です。

工学部・理工学部全体の歴史資料としてまとめたものが少なく、資料を掘り起こすと同時に、新旧教員の先生方に取材し、それをもとに原稿を書き起こす形式にしています。2月現在、予定の半分ほどの取材が終わっております。

木枝燦先生(15代学部長、22代学長)、原正先生(17代学部長、23代学長)、谷口一郎先生(19代学部長)、各先生とてもお元気で、貴重なお話を伺うことが出来ました。

各学科系列の取材では、機械系の網島貞男先生、電気系の大谷隆彦先生、雨谷昭弘先生、数理環境系の押目頼昌先生、林田明先生、情報系の柳田益造先生、渡辺陽一郎先生より、学科設立から今に至る経緯について既に取材を終えております。また、電気系OBの山崎舜平氏からは、軽井沢研修がハリス理化学校の卒業生でフェライトの発明者である加藤與五郎先生から物心両面によるご支援を受けて今に続くことを伺いました。

現役の学部生・院生を交えた座談会も既に終え、若々しく真剣に学業や研究に取り組む姿に頼もしい将来を感じております。

取材に立ち会いますと、ものが非常に不足していた新制大学創設当時のご苦労や、田辺校地移転時、反対されている地元の方々への説得、大学紛争が激化したおりに末光力作先生が単身理化学館に乗り込まれてハリス氏の肖像画を選び出されたことなど、さまざまなエピソードの中から先生方、諸先輩の皆様のご苦労や当時の気概に触れることができ、改めて同志社スピリットの素晴らしさを噛み締めています。

この年史は、皆様に手にとって愛読していただけるように、読みやすい内容とすることを心がけています。

親近感あふれる誌面にするため、同窓会会員の皆様より、在学当時のお写真やノートなどお持ちでしたらご提供いただけませんかでしょうか。



仮装行列



湯浅八郎先生



同工館

制作期間もあと1年を残すのみとなりました。スタッフ一同、心をこめて制作いたしますので、どうぞ楽しみにお待ちいただけますよう、お願い申し上げます。

既にデジタル画像でお持ちの場合は、メールでご送信いただけますとありがたく存じます。

ご提供いただきましたお写真等につきましては、「70年史」にのみ使用いたします。

また、ご郵送にてお送りいただきましたお写真等は使用後速やかにご返却させていただきます。

「皆様からの提供をお待ちしています」

[具体例]

- ・ 恩師の写真（先生の氏名を明記してください。）
- ・ 建物、校舎の写真（建物の名称を明記してください。）
- ・ 研究室（ゼミ）の集合写真（研究室名を明記してください。）
- ・ 研究室（ゼミ）の旅行写真（場所など、分かる範囲でお教えいただければ幸いです。）
- ・ ノート（科目など、分かる範囲でお教えいただければ幸いです。）
- ・ 試験問題（科目など、分かる範囲でお教えいただければ幸いです。）
- ・ 生協の組合員証

など

○送付に迷われた場合は、同志社大学理工学部同窓会事務局までご連絡ください。

○お送りいただく場合、送り主様の住所・氏名・卒業（修了）年・卒業学科（修了専攻）を明記していただきますよう、よろしく申し上げます。

○工業専門学校化学工業製薬分科※について知っておられる場合は、同志社大学理工学部同窓会事務局までご連絡ください。

送付先 〒610-0321 京田辺市多々羅都谷1-3 同志社大学理工学部内 同志社大学理工学部同窓会事務局
TEL: 0774-65-6219 FAX: 0774-65-6850 Mail: dkk@mail.doshisha.ac.jp

締切日 2013年5月15日（締切日に間に合わない場合は、事務局までご連絡下さい）



工専野球部



博達館

※1946(昭和21)年に工業専門学校学則を変更し、電気科、電気通信文科、機械科、化学工業科、化学工業製薬分科を設置。1948(昭和23)年に薬事法施行令による指定を受け、卒業生は薬剤師の資格を得る。1949(昭和24)年に11名が卒業。

■表紙：礼拝堂（チャペル）と寒梅

1886（明治19）年竣工、国の重要文化財。日本にあるプロテスタント派の煉瓦造りの礼拝堂では、現存する最古のもの。外観は、アメリカン・ゴシック調の鉄板葺き。急勾配の切妻屋根が美しい建物。設計は、D.C. グリーン。同志社の歴史とキリスト教精神を象徴している。



本ページの写真提供者名
1949(昭和24)年 電気科、電気通信科卒 豊永俊郎・山田寛治・小滝一夫の三氏によるものです。

24EC (24年工業専門学校電気) 同窓会報告

昭和24(1949)年に電気科, 電気通信科を卒業された方々の同窓会が開催されました。

詳細は以下の通りです。

○日 時：平成24(2012)年10月17日(水) 正午～午後3時

○場 所：今出川キャンパス 寒梅館
SECOND HOUSE WILL

○出席者：13名

(電気科：坂東 清光, 茶谷 昭, 原田 大円, 近藤 政造,
村上 章, 岡橋 常男, 小滝 一夫

電気通信科：川内 一郎, 松田 泰一, 鈴木 清, 豊永 俊郎,
鈴木 政一, 山田 寛治)



12時 開会

- ・小滝さんより物故者 齊藤亥三雄先生, 瀧山 敬先生および同窓生 30名の氏名が読み上げられ, ご冥福を祈り黙祷を行いました。
- ・川内さんより乾杯のご発声。
- ・同志社ワインとフランス料理のフルコースを堪能。
- ・お一人ずつ思い思いの一言を述べました。

15時 記念写真撮影

解散

- ・来年度は近藤さんの勧めにより, 関東地区で1泊してご家族も参加するという会の企画をしていただくこととなりました。

後日 坂東さん, 村上さん, 小滝さん, 山田さんの4名で24EC旗を新島記念館へ寄託しました。

豊永俊郎(昭和24(1949)年電気通信科卒)記

工学部岳稜会OBゴルフ東西対決報告

工学部電子工学科昭和40(1965)年入学の後藤忠彦です。

在学中は山岳系の同好会である工学部岳稜会に所属し, 春, 秋は京都の北山, 夏は北アルプスの15日間の夏山合宿, 冬は八ヶ岳での冬山合宿とヤマボーイを満喫しました。

就職は本社が東京にある NEC で日本の高度成長期でもあり, コンピューター関連の仕事はそれなりに充実したものでした。現在は退職し, ゴルフ, テニス, 陶芸, 庭いじりと日々過ごしていますが, 退潮著しいこの日本の将来を憂えている前期高齢者です(笑)。

さて, その工学部岳稜会 OB ゴルフ対決が2012年11月1, 2日開催されたのでご紹介します。

参加メンバーは関西から藤原(60年入学)さん, 立原(61年入学)さん, 森本(61年入学)さん, 新庄(63年入学)さんの4名, 名古屋から中野(66年入学)さん, 大槻(66年入学)さん, そして関東地区から寺澤(60年入学)さん, 和田(63年入学)さん, 飯田(65年入学)さん, そして後藤の計10名は初日の1日, 9時17分, 新幹線三島駅に関西, 名古屋組が到着。タクシーで20分後には, 沼津ゴルフに到着しました。このゴルフ場は東名高速沼津 IC から5分と近く, 昭和39年開場の駿河湾を見下ろす丘陵コースです, 尚当方現在のこのこのハンデは16です。

10時5分にスタートし昼食をはさみ夕方4時20分, 無事夕暮れ前に完了。ベストグロスは名古屋の大槻さんの84でした, 風呂には入らず三台の車に分乗して東名高速に入り, 御殿場 IC から箱根仙石原へ。途中の車中から夕暮れで赤く染まる富士山は画家林武の名画「赤富士」のようでした。みなさんもこの景色には感動したようです。



本日の宿泊は寺澤さんが会員の東急ハーベスト箱根甲子園。早速温泉に入り今日のグリーンは早かったとゴルフ談義が盛り上がりました。夕食は和風懐石で、酒を飲みながら歓談。全員が近況報告を披露してくれましたが残念ながら山行報告はありませんでした。立原さんが今夏ロッキー山麓をご夫婦でトレッキングしたのが山行報告らしきもの。現役でご活躍中是新庄さんで、同志社中学の跡地利用では設計関連で貢献されたとの報告でした。

さて今日も昨日と同様に快晴、コースは名門箱根カントリークラブ。日本 HP 社長だった寺澤さんがメンバーで理事長は細川護熙元首相、昭和 29 年開場で、箱根の外輪山に囲まれた雄大なフラットなコース。ブルドーザーを使わず手作りとのことでグリーン of 整備も素晴らしく、簡単に 3 パットが出てしまいました。関西の名門は昭和 7 年開場の広野ゴルフクラブですが、同等の品格をもつコースからでしょうか、晴天の中周囲の山は紅葉で色づき、スコアは別で素晴らしい一日となり、皆満足でした。今日のベストグロス立原さんの 91 で東西対抗戦は東の圧勝。来年も全員元気でゴルフをしようと再会を誓い、別れとなりました。最近若者にはヤマ人気がなく、この工学部岳稜会は廃部となりましたが、野田(63 年入学)さんを中心に八方スキー合宿、そしてゴルフほか OB が集まりました。

3 年前には 50 周年記念の会を開催し、100 名近い OB が集まりました。東京一極集中から歪が目立つ昨今、ノーベル医学生理学賞を受賞した山中教授とわが工学部物質化学工学科卒業の高橋和利京大講師と関西勢の一層の奮起を期待する昨今です。

後藤 忠彦(昭和 44(1969)年電子工学科卒)記

初めてのゼミ同窓会は盛会でした♡♡♡…

応用電気、プラズマのゼミ同窓会が平成 24 年 11 月 11 日(日)に、寒梅館 7 階のセカンドハウス WILL で開催されました。ゼミ卒業生が学年を超えて集まるのは、平成 17 年 7 月に藤田先生のご退官記念で開催した「プラズマ第 2 研究室リユニオン」以来ですが、この時は、藤田先生の指導を受けたゼミ生が中心であったため、全てのゼミ出身者を対象としたものとしては、今回が初めてのことになりました。

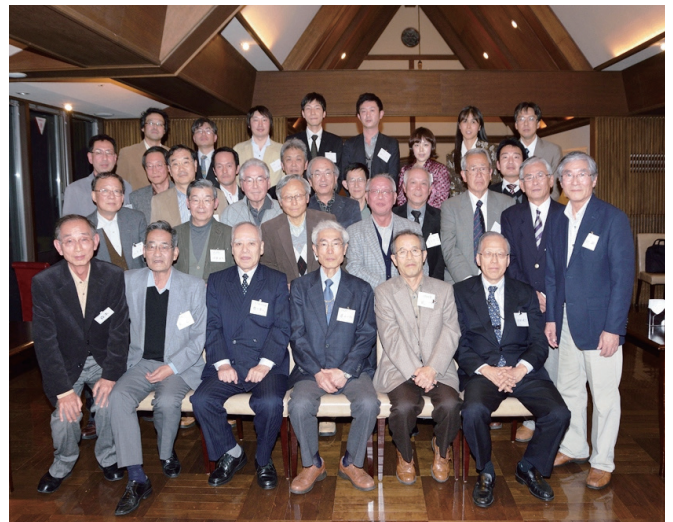
会場となった寒梅館は、平成 16 年に烏丸通りの学生会館跡地に竣工した比較的新しい建物で、ロースクールとビジネススクールの教室、大小のホール、各種会議室、また最上階の 7 階にはフレンチレストランがあるなど複合的な機能で構成されています。レストランからは東山の眺望が楽しめ、8 月 16 日の五山の送り火には早くから予約で一杯になることでも知られています。

記録によりますと、元木ゼミで最初の卒業生が誕生したのが昭和 28 年でしたから、案内方法をどうするか、何人くらい出席していただけるかが、世話役、特に発起人の中心として動いていた森本護さん(昭 40 年卒)の大きな悩みでした。幸い、理工学部同窓会の総会案内への便乗と集中的な個別案内を駆使することで、結果的に 31 名の出席者(参加のご返事は 35 名)をお迎えすることができました。森本さんのご苦勞が実ったのも、皆様のご協力のたまものと感謝する次第です。

出席者の中には、藤田先生(昭 38 年卒)、橋口先生(昭 34 年卒)をはじめ、リユニオンの代表兼 OB 会会長の岡秀敏さん(昭 56 年卒)、女性では河合佳美さん(旧姓林、昭 63 年卒)、後藤知世さん(旧姓小河、平 10 年卒)、若手では、池本裕紀さん(平 17 年卒)、上田裕也さん(平 17 年卒)など、それぞれ 19 の卒業年度から多くの方々が元気なお顔を見せてくださいました。またリユニオン発起人の一人である猿谷剛さん(平 11 年卒)などは、インド出張から東京への帰途、お疲れのところをわざわざ立ち寄っていただき、元気に昔話に興じておられたのが印象的でした。

この日は、午後 2 時から理工学部同窓会があり、3 時からは第一次と第三次の南極観測越冬隊員として、またタロ、ジロ物語でも著名な北村泰一先生のご講演があり、約 2 時間にわたって会場を笑いと感動でつつんでおられました。先生は、80 歳を超えられても大変お元気で、特にお歩きになる時の姿勢の良さと速さには我々若輩の及ぶところではないと強い感銘を受けました。

今回の同窓会は、皆さまのご協力で盛会に終わりましたが、老いてますますお元気な北村先生にあやかって、ゼミ生一同くぐれども健康に留意され、次の機会にも元気なお顔が拝見できることを願っています。



谷村 毅(昭和 39(1964)年電気工学科卒)記

写真は尾山和也さん(昭和 60(1985)年電気工学科卒)撮影

同窓会活動・リユニオン

2012年度 理工学部同窓会 総会・リユニオン報告

○日程：2012年11月11日(日) ○場所：今出川キャンパス

<卒業生レセプション>

12:30~13:45 寒梅館1階 特設会場

<総会> 参加者：約30名

14:03~14:47 明德館1階 1番教室

同窓会会長挨拶 橋詰 源治

理工学部長・理工学研究科長挨拶 辻 幹男

- 【議事】
1. 2011年度事業報告…全員一致で承認。
 2. 2011年度会計報告…全員一致で承認。
 3. 2012年度事業計画および予算…全員一致で承認。
 4. 会則改正…経理規程, 個人情報に関する規程とともに全員一致で承認。
 5. その他…高橋和利様*(2000年物質化学工学科卒業)のロバートソン賞受賞のお祝いを同窓会として行うことについて, 全員一致で承認。

*ノーベル医学・生理学賞を受賞された京都大学の山中伸弥教授(50)の“一番弟子”JPS細胞発見時の実験を担当。日本人初の受賞。

<講演会> 参加者：約90名 司会：篠木俊雄

15:00~17:00 明德館1階 1番教室

講師：北村泰一先生 九州大学名誉教授(元日本南極観測隊第一次, 第三次越冬隊, 元同志社大学工学部電気工学科助教授)

演題：『なせばなる』



2013年度 理工学部同窓会 総会・リユニオン

○日時：2013年11月10日(日)

○場所：今出川キャンパス(大学のホームカミングデーにあわせての開催予定です。)

同期会や同窓会を企画いただく場合, お世話役の方より事務局へご連絡いただきますと, 宛名シール印刷などのお手伝いをさせていただきます。

また, 同窓生の情報交換にはリニューアルされたホームページの掲示板をご利用いただくと便利かと思えます。

人事・訃報 (理工学部)

新任(2013年度に新たに着任される教員)

[インテリジェント情報工学科]

吉田雅一(よしだまさかず)任期付助教(2013.4.1~2018.3.31) / 間博人(あいだひろと)任期付助教(2013.4.1~2018.3.31)

[電子工学科]

三木啓司(みきひろし)任期付助教(2013.4.1~2018.3.31)

[機械システム工学科]

松村恵理子(まつむらえりこ)准教授(2013.4.1~)

[機能分子・生命化学科]

木村佳文(きむらよしふみ)教授(2013.4.1~) / 土井貴之(どいたかゆき)任期付准教授(2013.4.1~2017.3.31)

退職(2012年度中に退職された教員及び2012年度末で退職される教員)

[インテリジェント情報工学科]

渡辺陽一郎(わたなべよういちろう)教授 定年(2013.3.31) / 吉見真聡(よしみまさと)任期付助教 依願退職(2012.9.30)

[電気工学科]

木村恭之(きむらやすゆき)任期付助教 任用期間終了(2013.3.31)

[電子工学科]

向平敦史(むかいひらあつし)任期付助教 任用期間終了(2013.3.31)

[エネルギー機械工学科]

土屋和雄(つちやかずお)任期付教授 任用期間終了(2013.3.31)

[機能分子・生命化学科]

青山安宏(あおやまやすひろ)任期付教授 任用期間終了(2013.3.31)

[化学システム創成工学科]

高野頌(たかのひろし)教授 定年(2013.3.31)

訃報(2012年度中に永眠された教員)

天野 宏 名誉教授 2012.5.20永眠(91歳)

伊吹 和泰 教授 2012.5.22永眠(50歳)

小堀 至 名誉教授 2012.6.22永眠(76歳)

大学近況

新たな教学体制

文学部・法学部・経済学部・商学部の4学部は、2013年度から1・2年時の勉強キャンパスを今出川キャンパスに移転します。これにより、全ての学部において4年間を通じて同じキャンパスで学べる教学体制が整います。

2012年度以前

京田辺校地	今出川校地
1～4年次	1～4年次
●文化情報 ●理工 ●生命医科 ●スポーツ健康科 ●心理 ●グローバル・コミュニケーション	●神 ●社会 ●政策
1・2年次 京田辺 / 3・4年次 今出川 ●文 ●法 ●経済 ●商	



2013年度以降

京田辺校地	今出川校地
1～4年次	1～4年次
●文化情報 ●理工 ●生命医科 ●スポーツ健康科 ●心理 ●グローバル・コミュニケーション	●神 ●社会 ●政策 ●文 ●法 ●経済 ●商 ●グローバル地域文化(2013年4月開設)

理工学部・理工学研究科 教員・学生の活躍

●理工学部小山大介准教授が2012年度エヌエフ基金研究開発奨励賞「優秀賞」受賞

電気工学科小山大介准教授が、一般財団法人エヌエフ基金の2012年度研究開発奨励賞にて、優秀賞に選ばれました。

授与機構：一般財団法人 エヌエフ基金

授賞式日：2013年1月18日

受賞内容：2012年度 研究開発奨励賞優秀賞

テーマ：「超音波放射力による高速可変焦点レンズとマイクロ光デバイスへの応用」

●工学研究科山田雄介さんと理工学部藤原弘准教授が学会発表でダブル受賞

2012年11月20～22日、立命館大学びわこ草津キャンパスで開催された(社)粉体粉末冶金協会平成24年度秋季大会(第110回講演大会)において、山田雄介さん(工学研究科機械工学専攻・金属材料科学(宮本・藤原)研究室)の発表が「優秀講演発表賞」に選ばれました。本賞は講演大会において優れた講演発表を行った学生が表彰されます。また、同講演大会において同時開催された第10回PM研究促進展でも、山田さんの指導教員である機械システム工学科藤原弘准教授が「奨励賞」を受賞しました。

優秀講演発表賞題目：「調和組織構造を有するハイス鋼／炭素鋼複合材料の微細組織と機械的性質」

奨励賞題目：「調和組織制御による金属複合材料の創製とその機械的特性」

●工学研究科張天さんが資源・素材学会「9回若手研究者・学生のための研究発表会」において「優秀発表賞」受賞

張天さん(工学研究科数理環境科学専攻・環境システム工学(盛満)研究室)が、2012年11月27日に京都大学で開催された資源・素材学会関西支部主催「第9回若手研究者・学生のための研究発表会」において口頭発表を行い、優秀発表賞を受賞しました。

発表題目：『ナノ／アモルファスハイブリッド触媒層を形成した金属電解採取用陽極の電解特性』

新たに開発したナノ／アモルファスハイブリッド酸化物を用いる電解採取用陽極が、電解採取時の大幅な電力削減を可能とすることなどを示しました。

この研究成果はすでに電極を製造する企業に技術移転され、現在実用化が進められています。

●工学研究科永井俊行さんが第45回酸化反応論会において「ポスター賞」受賞

永井俊行さん(工学研究科工業化学専攻・分子生命化学(小寺・人見)研究室)が2012年11月16,17日に名古屋市立大学で開催された『第45回酸化反応論会』でポスター講演を行い、ポスター賞を受賞しました。

講演題目：『銀(I)-芳香族環相互作用を有する銀(I)錯体を用いたエチレンモニタリング』

植物の成長ホルモンであるエチレンガスを感じる金属タンパク質にヒントを得て設計した小さな金属錯体がエチレンガスのモニタリングに使用できることを示しました。永井さんの研究は学術雑誌『Chem. Commun.』でも掲載され、注目論文としてback coverに採用されました。

●工学研究科水野陽章さんが生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会において「若手プレゼンテーション賞」受賞

水野陽章さん(工学研究科機械工学専攻・機械力学(小泉・辻内)研究室)が2012年11月2日～4日、名古屋大学東山キャンパスで開催された(社)日本生活支援工学学会・(社)ライフサポート学会・(社)日本機械学会主催の生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会2012-LIFE2012において、「若手プレゼンテーション賞」を受賞しました。本賞は、発表時に満35歳以下で優秀な発表を行った登壇者に対し授与されるものです。

論文題目：筋電信号による7動作識別手法の提案

著者：辻内伸好, 小泉孝之, 水野陽章

同志社大学 理工学会・理工学部同窓会ホームページアドレス

<http://dokonet.doshisha.ac.jp/>

同志社大学理工学部同窓会報—DoKoネット17号

2013年3月20日発行 発行者:橋詰 源治 〒610-0321 京田辺市多々羅都谷1-3 同志社大学理工学部内
理工学部同窓会事務局 Tel: 0774-65-6219 Fax: 0774-65-6850
印刷:大枝印刷株式会社 Tel: 06-6381-3395 Fax: 06-6318-2000

同志社大学理工学部同窓会へのご質問,ご意見あるいは本冊子「DoKoネット」へのご投稿をお待ちしております。同窓会事務局までご連絡,ご投稿下さい。なお,DoKoネットの発送につきましては,大口発送元である株式会社エルネットを発送代行者として発送させていただきます。